

課題名 (タイトル) :

4D Cell Information Communication Platform

利用者氏名 : 趙 武魁
 所属 : 情報基盤センター

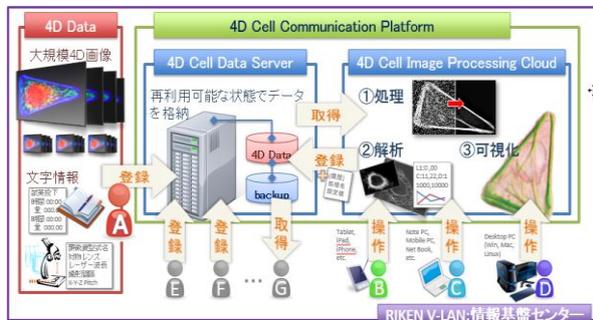
報告内容

1. 本課題の研究の背景、目的、関係するプロジェクトとの関係

4D Cell Information Communication Platform プロジェクトは情報基盤センターと生物情報基盤構築チームの共同プロジェクトであり、複数のセンターに所属する 12 の研究室が推進した「生物研究基盤ツールとしてのライブセルモデリング」にて実験方法の開発、規格した実験・対象、4次元モデル構築まで幅広い分野の技術と研究成果が生み出す。こういった技術、研究成果は知的財産として理研に残され、統一管理し、共有、再利用できることと研究計算資源の効率利用を図るため、本プロジェクトは共通基盤データ解析システム構築の第一歩として RICC のリソースを活用しクラウドプラットフォームとして研究成果の蓄積・共有・再利用できるプロトタイプシステムの構築を行った。

2. 具体的な利用内容、計算方法

RICC の高速ストレージを 4D Cell Information Communication Platform システムのバックアップ装置として利用した。



4D データを 4D Cell Data Server から rsync で定期的に RICC 高速ストレージに転送しバックアップされる、システムの信頼性を高めた。

3. 結果

RICC 高速ストレージを利用することで高信頼性、

高可用性のプロトタイプシステムの構築ができた。

4. 今後の計画・展望

今後、データの大規模化への対応として、RICC の高速ストレージの継続利用及び RICC の計算リソースを活用する技術開発を行っていくと考えている。